

再歩

～にぎわい再び～

四季の味

やまもとや

(代表取締役社長 やまもとしょういちろう 山本正一郎さん)

行政区：安永3町内

今回は、和食・懐石・宴会などさまざまなシーンで、思い出に残るような食事の場を提供している、「四季の味やまもとや」の山本さんに話を伺いました。

久々の雨に降られた中、11月にリニューアルオープンしたやまもとやにお話を聞きに伺いました。

やまもとやは昭和24年に魚屋として始まり、今回、話を聞いた山本正一郎さんは2代目。平成元年に初代の父親から事業を受け継ぎ、家族と協力しながら店を営業していたそうです。

ところが、熊本地震により、店舗と自宅が全壊。1度目は被害も少なく、1週間ほどで再開できると見込んでいましたが、2度目の震度7が致命傷となり、営業できなくなりました。

店舗と自宅の惨状を見た山本さんは廃業を決め、4月の下旬には従業員に廃業を伝えました。従業員をはじめ、いつでも跡が継げるよう修業してきた息子たちにも、新たな職を探すよう話をしていました。実際、長男は次の仕事が決まっていたそうです。

そんな山本さんに、やまもとやを再開しようとする方針を転換させたのは、料

理を待ちわびるお客さんの声でした。

「いつ再開するの?」という言葉に心を動かされ、また再開してみようかという気持ちになり、家族と話し合ったそうです。

何度も家族会議を行った結果、もう一度やまもとやを再建することを決め、動き出しました。

しかし、再建には多くの資金がかかります。何か情報はないかと、5月の半ばごろ山本さんが町の商工会を訪ねたところ、グループ補助金の話を聞き、グループ補助金を利用すれば、再建の目途が立ちそうだと見込み、申請に向けて動き出しました。

「資料の準備には四苦八苦しましたが、8月には本格的な申請に向けて動き出すことができました」

その間、店はというと、別館の片づけを何とか済ませ、6月には太巻きの販売を再開、10月には木山にテナントを借り、11月に業務用の仕出しを再開することで、少しずつ店としての営業の形ができていきました。

人手不足もあり、再建にも時間がかかりましたが、平成30年の10月20日には引き渡しも済み、10月28日には安永地区の団体である安興会の

開催することができました。

今回の再建に伴って、店のコンセプトも変えたというやまもとや。「家族を中心に、従業員を適所に配置し、ミーティングをこまめに行うよう努めています。開店して間もないということもあり、小さなトラブルや改善すべき点がありますが、そのようなことについてもミーティングで話し合い、対処することでより良いサービスを行えるよう努力しています」

もちろん料理にはこだわりを持っているそうで、通常の和食をアレンジして、中華や洋食を取り入れた創作料理も提供しています。「美味しいものは何でも取り入れようと、いろんな店にも足を運び、研究をしています」と山本さん。美味しいものを追い求める、その根底にあるのは、「お客さまにお食事を楽しんでもらうこと」。ここでご紹介した他にも、店の至る所に、山本さんのこだわりが込められています。

ぜひ一度店に足を運び、「四季の味やまもとや」で、家族や友人など、大切な人たちと大切な時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。

『何よりもお客さまに』

お食事を楽しんでもらおう

協力もあり、店舗の完成イベントを無事

産業振興課 商工観光係

☎ 286-3277